

社労士 受験者に
オススメ!

2012年
1月開講

ご要望にお応えして

2級対策講座も開講決定!

年金アドバイザー

3級:社労士受験生、
2級:社労士合格者に最適です!

2011年9月より新規開講し、大好評のTAC年金アドバイザー講座。1月開講の3月試験対策では、3級に加えて、2級対策講座の開講も決定しました。

年金アドバイザーでは、年金給付の種類やその支給要件等に加えて、実際の年金額の計算方法や年金相談事例など、年金実務を行うために必要な実践的スキルを磨くことができます。

3級試験は五択択一式で基本的理解を問う問題が中心となりますので、社労士学習中の方が年金知識の基礎を固めるためにおススメです。

一方で2級試験は出題形式も記述式となり、実際の相談事例への対応能力を問う、より難易度の高い問題を中心に出題されますので、社労士試験合格者の方が次のステップとして挑戦するのに最適の試験といえます。

ぜひともチャレンジしてみてください!

**社労士合格者、
学習経験者は特別割引!
社労士受験者割引**

2011年12月より順次開催予定!

特別セミナー 『年金アドバイザーの魅力と取得メリット』

詳細は「2012年3月試験目標 年金アドバイザー講座パンフレット」(2011年11月下旬完成予定)または11月下旬以降TACホームページにてご確認ください。

コース等の詳細及びお問い合わせは…

▶TACホームページ

<http://www.tac-school.co.jp/>

▶電話

 **0120-509-117** [受付時間 9:30~19:00(月~金) 9:30~18:00(土・日・祝)]

※携帯・自動車電話、PHSからもご利用いただけます。

▶携帯電話



バーコードに対応しているカメラ付き携帯電話で左記のバーコードを読み取ってアクセスしてください。

資格の学校
TAC

671-0903-1001-13

試験ガイド[年金アドバイザー3級・2級]

成績優秀者には
記念としてメダル付きの
表彰状が付与されます!



※写真は2級のものです。

➡**受験資格** [特にありません。どなたでも受験できます。]

➡**試験実施スケジュール** [年金アドバイザー3級は毎年3月・10月の年2回、
2級は毎年3月のみ年1回の実施]

第121回試験

【受験申込期間】2012年1/6金～1/23月

【試験日程】2012年3/4日(3級) 10:00～12:30 (2級) 13:30～16:30

【合格発表】(3級) 試験実施から約3週間後 (2級) 試験実施から約7週間後



受験申込期間は、2012年1/6金▶**1/23月**です。

TACでの受験申込はできません。必ず期間内に、銀行業務検定協会ホームページ
もしくは、公式問題解説集巻末の個人受験願書にてご自身で直接お申込みください。

銀行業務
検定協会
ホームページ

<http://www.kenteishiken.gr.jp/>

※TAC講座申込・受講後の受験申込忘れを理由による解約・返金
には応じられません。くれぐれもご注意ください。

	3級	2級
試験地	全国47都道府県約200会場で実施	
受験料	3,150円(税込)	5,250円(税込)
試験時間	150分 試験開始後60分間、終了前10分間は退席禁止	180分 試験開始後60分間、終了前10分間は退席禁止
持込品	・受験票 ・HBの鉛筆、消しゴム ・電卓(1台のみ使用可。ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可。)	
出題形式	五択択一形式(マークシート式)問題が計50問出題されます。 ① 基本知識: 五択択一式 30問 <各2点> ② 技能・応用: 事例付五択択一式 10事例 20問 <各2点>	記述式10題<各10点>
出題範囲	●わが国の社会保険制度とその仕組み ●年金制度とその仕組み ●年金給付の種類と支給要件 ●企業年金個人年金の仕組みの要点 ●裁定請求手続きと年金受給者の手続き ●その他	●社会保険制度の概要・沿革 ●公的年金制度の仕組み ●年金給付と支給要件・年金額計算 ●企業年金・個人年金の仕組み ●雇用・医療・介護保険制度 ●年金・退職一時金の税金 ●年金相談とその対応の仕方 ●その他

講師も推奨!

三井田人事労務事務所 所長 特定社会保険労務士 行政書士
年金アドバイザー2級 TAC社会保険労務士講座講師

三井田 浩氏

年金アドバイザーは、社労士の実務にも本試験対策にも役立ちます。

苦手意識から年金アドバイザーを受験

◎三井田先生の年金アドバイザー受験動機

正直にお話すると、社労士受験時代に年金科目が一番苦手だったからです。覚えれば何とかなんと必死で暗記をして合格しました。ですから、合格しても年金に関してはよく分からず、苦手意識を持ったままでした。そんな時、知人から銀行業務検定試験の年金アドバイザーを教えられました。実務的で、実際に年金の見込み額等を算出するので、社労士の実務にも役に立つと聞き、早速、3級の受験を決意しました。

◎社労士試験との比較

問題集等を見たとこ、社労士試験とは問題の傾向が違い、やさしい試験という印象はありませんでした。ただ、法令に関する部分など社労士試験と重なる点も多いので、その点はアドバンテージがあり、おかげ様で3級、さらにその後2級と合格することができました。

◎社労士実務との関連

今、お客様に年金のことをお話する知識のほとんどが、年金アドバイザーの受験を通じて得たものです。それだけ実践的、実務的な内容ですから、勉強して本当に良かったと思います。

実は社労士講座の入門講義の中でも、年金アドバイザー3級の受験を勧めています。

実務にも、本試験対策にも使える

◎3級と2級のレベルについて

3級は基礎的な位置付けではありますが、社労士試験とは問われる視点が異なるため、やはり一定の学習が必要です。2級については、出題形式も記述式となり、難易度も格段に上がります。細かな部分では、端数処理も関連します。社労士試験の場合、知識として端数処理を覚えればいいのですが、年金アドバイザーの場合は、端数処理を正しく行って年金額を算出しなければなりません。

社労士試験が論理的な思考を身につける試験だとすれば、年金アドバイザーは実務に直結した試験だといえるでしょう。

◎社労士合格者にも、受験生にもおすすめ

社労士試験は論理的な考え方を身につける試験です。一方で年金アドバイザーは実務に則した業務の流れ、例えば裁定請求書を提出し、通知が来て、年金をもらう前には見込み

計算書が届く……といった内容を身につけると同時に、事例に則した実際の年金額の計算力も鍛えられます。実務に役立つのはもちろんですが、社労士試験とは別の角度から年金を理解し、その上で社労士の年金を学ぶと、具体的なイメージがあり何を学ぶのかがわかりやすく、条文の理解が一気に進みます。最近の社労士試験は、実務的な手続きの出題が増えつつありますから、社労士試験の受験対策としても役立つでしょう。

◎合格者・受験生へのアドバイス

合格後の実務のために、あるいは来年の受験対策の一環として、私は年金アドバイザーの受験をお勧めします。社労士試験とは一味違う試験ですので、簡単に考えずにきちんと勉強に取り組んでください。応援しています。

